

## 第6回富山駅周辺整備事業推進協議会 議事録

日 時：平成21年4月17日（金） 13：30～

場 所：富山県民会館 304号室

### ○次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶（富山市都市整備部長）
- 3 議 事
  - 1）「推進協議会における検討内容」 〔資料－1〕
  - 2）「第5回推進協議会における主な意見」 〔資料－2〕
  - 3）「富山駅高架下空間の利活用検討」 〔資料－3〕
  - 4）「富山駅交通広場の計画検討」 〔資料－4〕
- 4 その他
- 5 閉 会

### ○出席委員

黒川委員、森委員、中川委員、夏野委員（廣光委員の代理）、井波委員、高橋委員（川野委員の代理）、木村委員、荒木委員（土肥委員の代理）、川岸委員、犬島委員、河口委員（白倉委員の代理）、奥平委員、徳道委員、中土委員（開口委員の代理）、廣瀬委員

### ○挨拶（富山市都市整備部長）

富山駅周辺土地区画整理事業については、今年度より富山駅南口仮広場、仮駐輪場、都市計画道路の整備に着手する予定であり、関係機関が連携しながら円滑な事業の推進を目指している。

本協議会は、駅周辺地区の土地利用、景観形成、駅前広場の交通機能について検討を行ってきた。本日は高架下空間における自由通路の整備や利活用、公共公益施設の配置、駅前交通広場のシェルターの機能等について、委員の皆様方にご意見ご指導をいただきたい。

### ○議事概要

#### 1）「推進協議会における検討内容」

#### 2）「第5回推進協議会における主な意見」

【事務局】（資料説明 資料－1、資料－2）

【座長】 本協議会は次年度以降も続くことになる。今後とも色々な面で調整事項が出てくると思うがよろしく願いたい。

#### 3）「富山駅高架下空間の利活用検討」

#### 4）「富山駅交通広場の計画検討」

【事務局】（資料説明 資料－3、資料－4）

【委員】 資料4 14頁にある南口仮設広場について、ロータリーの出口部分に図示している緑色の部分は何か。バスには立っている乗客もいるため、180度転回させる

運行には疑問が残る。

- 【事務局】 緑色の部分は分離帯の様なものであり、交差点に対して出て行く車両が正面を向くレイアウトとするためのものである。
- 【座長】 180度転回するような運行が乗客にとって望ましいものか。
- 【事務局】 今後、より望ましい線形を交通管理者と協議していきたい。
- 【座長】 交通管理者との協議だけでなく、利用者の立場を考える必要がある。ただ、博多駅の筑紫口駅前広場では、この部分が無いため車両が出にくい状況が見られ、交通処理の線形としては、本計画にあるようなレイアウトが望ましいとは思う。
- 【委員】 線形的に余裕があるようなので、緩やかに曲がれるようにしてほしい。
- 【事務局】 できるだけ乗客が安心できるよう検討していきたい。
- 【委員】 将来計画では第2タクシープールを設置する計画になっているが、仮広場供用時においても第2プールを設置できないか。ショットガン方式の練習にもなり、また、運用面での課題も判明するのではないか。
- 【事務局】 仮広場におけるタクシープールの台数は、現況と同程度の台数として35～40台程度を確保しており、この規模内で充足するものと考えている。
- 【委員】 現況では、プール枠台数のほかに、実態としてももう少し待機台数がある。  
また、将来的にショットガン方式を行うのであれば、仮広場の時点から予行を行っておかないと混乱することが懸念される。
- 【座長】 南口仮広場を整備する時点では高架工事は何も進んでいない状況であり、そういった中で交通を処理しないといけない。  
例えば大宮駅では、乗降客は多いが駅前広場内のタクシープールが40台程度しかなく、第2プールとしてタクシー協会が借地して運用しているという事例もある。施設量が足りないのであれば、官民が協働していくことも考えて欲しい。
- 【委員】 南口広場については第4回協議会で基本的に了承頂き、第5回で微修正を行っている。今回、仮設広場について初めて示されたが、交通事業者からは問題点も挙げられており、基本線を崩さないで安全面、利便性が高まるように意見を取り入れ詳細設計を進めて欲しい。
- 【委員】 資料3 2頁にある新幹線と在来線改札口部分のイメージを教えて欲しい。
- 【事務局】 改札口は、南北自由通路に面した位置への設置のほか、東西自由通路に面した位置にも検討されていると聞いている。
- 【委員】 図中の▲の位置にラッチが設置され、南口から南北自由通路に入った場合、右手に改札口がある。券売機の配置は決定していないが、ラッチの横に配置される。  
南北自由通路3スパンのうち、1スパン分は券売機前のたまり空間となる。  
東西自由通路の改札口は、図に示す位置あたりに検討されている。
- 【委員】 まだ駅全体のレイアウトを検討している段階であるが、南北自由通路側の改札口は自由通路から出入する形で配置、新幹線の券売機は改札口の南口側に設置、また東西自由通路側の改札は中2階での設置を含めて検討している。
- 【委員】 中2階の改札とは、新幹線と在来線の乗換え口になるということか。
- 【委員】 出入口というよりは、乗換えという位置づけで検討している。
- 【委員】 新幹線と在来線の乗換えの機能が設けられることは良いことである。

自由通路は、券売機前の滞留や団体の待合せといった機能も持つことになる。

【 委 員 】 在来線は JR 線ではないため、1つのラッチで乗換えができるとは限らないが、乗換えのための動線を確保するよう検討されている。

【 座 長 】 次回には平面図の他、イメージが分かるように断面図も作成して欲しい。

【 委 員 】 資料4 10、11 頁を見ると新幹線と在来線の高さが違う。また、高架の構造も完全に分かれているが、天井部分で一体的に処理することになるのか。

【 委 員 】 パンフレット「富山駅周辺の景観デザインについて」に断面イメージがあるが、高架下を一体的に利用するという意図で、新幹線高架と在来線高架のホーム上屋間を三角の屋根で繋ぎ、風雨を防ぐことを計画している。

また、東西自由通路については、資料3 2 頁において、「EAST ブロック」部分において新幹線のホームはこのブロック全体に配置されるが、在来線ホームはこのブロックの西側半分までの配置になるので、在来線ホームが無い東西自由通路の東側半分の区間には別途屋根を設けてもらいたいと考えている。

【 委 員 】 資料4 11 頁にあるイメージ図において、図中の新幹線が位置する部分から相当高い位置に上屋が架かっているが、この空間は何か意図があるのか。

【 委 員 】 屋根を支えるトラスがあり、その高さ等である。

金沢駅のように屋根の上を駐車場として利用する等の機能は想定していない。

【 委 員 】 金沢駅のホームが非常に暗い印象があり、そうならないよう配慮した方が良い。

【 座 長 】 別途「景観デザイン検討委員会」では、富山駅は自然採光と自然換気を用いるように検討されている。

【 委 員 】 資料4 5 頁の西口高架下レイアウトにおいて、一般車が乗降を行った後に短時間駐車場を利用する場合には富山駅南北線に一度出る必要があり、気になる点である。

資料3 8 頁において、「WEST ブロック」に観光案内と待合室を配置する計画であるが、自由通路と路面電車軌道の間にはガラススクリーンが計画されており、光の反射が目隠しになることもあることから、利用者からの視認性を確保する必要がある。金沢駅は改札口を出ると窓口や観光案内がすぐに認識できる位置に配置されている。

【 事 務 局 】 西口の駐車場については、今後検討を進めていきたい。

待合い等の配置や視認性については、改札口付近に配置したコンシェルジュによる案内などともあわせて検討する必要があると考えている。

【 委 員 】 南北自由通路については、出入りのための扉はできるだけオープンにしておけるよう空調等の検討を行い、天井の高さや自然光の採光にも配慮して欲しい。また、高架下に入ったときに反対側の駅前広場や街並みが見えるようにし、閉鎖的なビルの中に入るような印象にならないように配慮して欲しい。

オープンなイメージが望ましいと思うが、観光案内等の機能については部分的に自由通路上に配置せざるを得ないのではとも思う。

東西自由通路については、自然光がたくさん入るように工夫して欲しい。

【 座 長 】 景観デザイン検討委員会での検討が実現されるのであれば問題ないと思う。

【 委 員 】 機能面では理解できるが、「これが富山の駅」という感覚がもうひとつ感じられ

ない。新幹線駅はそれぞれに地域の工夫が必要であり、小田原の駅においてはコンコースに小田原提灯が下がっており良いアピールになっている。南北自由通路にシンボライズされた富山らしいもの、柱や天井のデザインとして薬やおわらなどのイメージを何とかデザインできないものかと思う。

また、イベントスペースが南北自由通路の中に確保されるよう検討してほしい。

【 委 員 】 整備後に手直しすることは難しいため、十分に計画の詰めを行って欲しい。

東京駅や京都駅では商業施設が併設されているが、富山駅において商業施設は確保されないのか。

【 事 務 局 】 本日は観光案内や待合空間といった公共公益施設を中心に説明を行ったが、民間施設として土産店や飲食店といった商業施設も配置される。

【 座 長 】 資料3 8頁にあるように商業施設の立地も想定しているが、京都駅のような大規模な商業施設は計画されていない。

【 委 員 】 新幹線の高架下はJR西日本の所有であり、在来線の高架下は並行在来線の運営会社が所有する部分と公共施設として利用できる部分があるが、市としては、資料に示すブロック割で機能配置し、一体的な利用が望ましいと考えている。

富山らしさについては、改札の前に停車するライトレールにより富山に来た印象を与えられるため、この演出の仕方が重要と考えている。

【 委 員 】 ライトレールだけで富山らしさを出すことには無理があるのではないかと。富山の伝統文化を駅舎の中に入れられないかと思う。

私案だが、「WEST ブロック」の全てを利用して、薬の博物館やおわら関連の展示など、富山の良いもの、伝統文化関連の施設等を配置するような大胆な構想を持って良いのではないかと。

【 委 員 】 資料3 9頁にある「WEST ブロック」と「EAST ブロック-A」は、機能が重なっている。この2つのブロックあえて性格分けを行うのか、同様の機能を配置させるのかについては整理が必要と思う。

ブロック毎に完成時期が異なることにも配慮した上で、施設配置を行うことも必要ではないか。

【 事 務 局 】 新幹線と在来線の整備時期にはタイムラグがあるので、途中段階の利用についても検討が必要であると認識している。

【 委 員 】 コンベンションが開催される場合、会場までのシャトルバス等が運行されると思うが、仮設広場ではバス乗降場の一部を路線バス以外のシャトルバス等が利用することも可能なのか。

【 事 務 局 】 仮設広場は、現在の南口バース数と同程度を計画しており、運用面の協議を事業者と進めていきたい。

【 座 長 】 駅の交番には、パトカーが常時停車できるようにする必要があるのか。

【 委 員 】 現在の駅もそうであるが、必ずしもパトカーの駐車スペースが確保されている必要性は無いと思う。

富山駅の南口は放射状に幹線道路が広がっており、整備に伴って駐車場の出入りなど交通の流れが複雑になるため、交通規制や信号の調整等について十分な協議を行っていきたい。

- 【 委 員 】 電鉄富山駅前部分は、消防活動への配慮からシェルターの設置が難しいようにあるが、バスや新幹線駅との乗り継ぎを考慮すると、何らかの配慮が必要であると思う。
- 【 事 務 局 】 様々な工夫や使い方を含めて議論していきたい。
- 【 委 員 】 シェルターに透明感を持たせることは良いと思うが、雪は降ってしばらくすると非常に汚れが目立つことになる。融雪はどの様に考えているのか。
- 【 事 務 局 】 現時点では検討中であるが、ガラス屋根であるグランドプラザでは地下水を利用した消雪を行っている。今後、経済効果等を含め検討していきたい。
- 【 委 員 】 基本的には明るい方が良いが、ガラスシェルターの場合、夏は非常に暑くなるため、一部の幅は不透明な材質を用いるといったことも検討が必要ではないか。  
シェルターの範囲について2案あるが、消防関係に配慮しつつ、空をできるだけ見せながら、十分に機能的な役割を果たせるような検討をお願いしたい。
- 【 委 員 】 シェルターの素材について、資料4 8頁にある図の②部分については、駅の正面ということもあり、デザイン検討委員会の中では資料4 2頁のイメージ図にあるように「富山らしい素材を用いたエントランスのイメージ」としてシェルターの内側に例えば立山杉を用いるといった案も出ており、乗降場の部分と材質を変えることも考えられる。
- 【 座 長 】 本日出た意見については、今後の検討に反映してほしい。
- 【 事 務 局 】 次回の協議会については、年度内の開催を予定しており、詳細が決まり次第、事務局より案内を行う。

以上